

平成二十三年度 入学試験（一次B日程）

清 心 中 学 校

国 語

受験番号

名 前

〔注意〕答えはすべて解答用紙に書きなさい。

【一】次の——線部の、カタカナは漢字に、漢字はひらがなに直して書きなさい。

- ①オオヤさんに家賃をはらう。
- ②ゴミのブンベツをする。
- ③トクイそうな顔つき。
- ④人のケハイがする。
- ⑤川のカリユウに行く。
- ⑥赤道に近い国。
- ⑦戸外で運動をしよう。
- ⑧版画を刷る。
- ⑨ねらいが外れた。
- ⑩牛が角をあげた。

【二】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

多くの人々が胸を躍らせた小惑星探査機「はやぶさ」の挑戦が終わった。

3億キかなたの小惑星イトカワに着陸して、再び地球に戻ってくる。当初は実現が危あやぶまれたA な目標を見事に達成し、地球の大気圏に突入して燃え尽つきた。月以外の天体との間を往復したのは、世界で初めてのことだ。B な快挙とっていい。

イトカワの表面で採取した砂などを入れるためのカプセルは、はやぶさから切り離されてオーストラリアの砂漠に落下し、無事に回収された。

小惑星は太陽系ができたときの様子をとどめているとされる天体だ。カプセルの中身は日本に持ち帰って分析ぶんせきされるが、砂などが入ってればさらにまた金字塔\*きんじとうを打ち立てることになる。

はやぶさが旅立った2003年は鉄腕アトムが誕生した年とされており、当初はアトムを愛称とする案が有力だったという。はやぶさは、自分の力で判断して行動するロボットなのだ。

重さ0・5ト、技術の粋が詰め込まれたちっぽけなロボットが、地上の探査チームの知恵と工夫に支えられて前人未到ぜんじんむとの大仕事をやってのける。世界の称賛を浴びたはやぶさは、日本の進むべき道を鮮やかに見せてくれたといえるのではないか。

真空の宇宙とはいえ、わずかな燃料で総行程60億キもの旅ができたのは、最新鋭のエンジンのおかげだ。ここに日本の高い技術力が生かされた。

はやぶさは7年間に何度も危機に見舞われた。とりわけ7週間も交信が途切れたり、四つのエンジンが故障したりしたときは絶望視されたが、C に乗り越えた。故障しても動かし続けることができたのは、技術を熟知した技術者と研究者の力が大きい。

チームのリーダーである宇宙航空研究開発機構の川口淳一郎教授は「意地と忍耐と、最後は神頼み」だったというが、チームが丸となってあきらめずにがんばれば、道が開けることも教えてくれた。

なによりも再認識させられたのは、高い目標を掲げ、あえて挑戦することの大切さだ。「世界でまだだれもやっていないことに挑戦したかった」（川口さん）という。

もともとは、新型エンジンなどの技術試験を目的とした計画だったが、小惑星探査という意欲的な目標を加え、それが、技術陣や管制チームの底力を引き出すことにつながった。

日本には、世界に誇る技術力がある。それをどう生かし、どう育てていくか。そこに日本の将来がかかっていることは間違いない。若者を鼓舞するような目標を掲げて挑戦する。それによって、技術も、そして人も、育てていきたい。

縮こまってはられない。はやぶさ君に笑われる。

\* 金字塔 …… 後世まで残るような偉大な業績。

\* 鼓舞 …… 人の気をふるい起こさせること。はげますこと。

『朝日新聞 2010年6月16日』より

問一 線部1 「小惑星探査機『はやぶさ』の挑戦」とは、どのようなことですか。本文中の語句を用いて答えなさい。

問二 空欄A Cに当てはまる語句として、最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 奇跡的      イ 具体的      ウ 野心的      エ 現代的      オ 歴史的

問三 線部2 「イトカワの表面で採取した砂など」が、もし入っていたとしたら、どのようなことを解明することになりますか。本文中から十五字以内で抜き出して答えなさい。

問四 線部3 「はやぶさ」とは、どのようなものですか。本文中から二十字以内で抜き出して答えなさい。

問五 線部4 「前人未到」の意味を本文中から十字以内で抜き出して答えなさい。

問六 線部5 「故障しても大きい」とありますが、技術者と研究者たちは、どのような態度で取り組みましたか。二十五字以内で解答欄に合うように答えなさい。

問七 線部6 「それ」の指す内容を、本文中から抜き出して答えなさい。

問八 線部7 「それをどう生かし、どう育てていくか」とありますが、筆者はどのようにすればよいと考えていますか。答えなさい。

【三】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「お母さん」はちよつと困ったように、そして明らかに気味悪そうに、つまりは失礼千万な眼差しで、俺の入ったバケツを覗き込んだ。 「ほんとに釣ってきたんだ」

「うん」

フータはとくいそうに胸を反らす。

「……泥だらけね」

「ちよつと、池に落ちて」

フータの声はわかりやすく、決まり悪げにしぼむ。

「……この石は？」

間拔けな経緯を我が子が語りたがっていないと察したのだろう、「お母さん」はいささかわざとらしく話題を変えた。

「池の石。一人じゃ寂しいと思って」

フータの返事に、けつと俺は丸いあぶくをひとつ吐く。お友だち代わりってか。生憎こちとら、その石に殺されそうになったんだよ。

「とにかく、シャワーを浴びちゃいなさい。今、タオルと着替えを持ってくるから。あ、その前に靴下を脱いで……靴も洗わなきゃダメね、それは後でいいけど、えつと、ぞうきん持って来なきゃ」

あまり要領のいい方ではないのか、「お母さん」はいたずらに言葉を並べるばかりで、なかなか動きが伴わない。対する息子はただ、ぼうつと突っ立ったままだ。

それでもようやくフータの靴と靴下を脱がせ、足の裏を拭き、家に上げられる段にまでたどり着くと、こんなときだけ「お母さん」は言った。

「あ、ソレは玄関に置いたままにしてね。後でどうするか考えましょう」

ソレってのはさ、もしかしないでも俺のことなんだろうなあ。

「……何だ、コレは？」

夜遅くに帰ってくるなり、「お父さん」は言った。今度はコレ、である。ああもう、コレでもソレでもドレでも、好きなように呼んでくれ。投げやりな気持ちで、そう考える。

その時間になっても「お母さん」は俺の処遇について、決めかねていた。一人で物事を決めるってことが、できない人なのかもしれない。結果、バケツごと玄関タイルの上に放置されていた。

「ザリガニ」

という「お母さん」の返事に、「お父さん」は「見ればわかる」と言いたげな顔をした。「お母さん」は急いで説明する。

「あのね、今日フータが生活科見学で遠足に行つてね、釣ってきたの……あなたのおつまみの、アタリメで」  
「ふうん」

あまり興味もないようで、「お父さん」は上がり框に靴を置いて **B** と靴を脱いだ。  
「なんか、生臭いな」

「そうなの」

「お母さん」は薄めの眉をしかめた。

「アタリメ入れすぎじゃないか？ これじゃ水がすぐ腐っちまう」

「フータが入れたのよ……ねえ、ザリガニの飼い方って、知ってる？」

「すがるように」「お母さん」がたずねたが、「お父さん」は **C** 首を振った。

「いや、わかんないよ、そんなの」

「そう……」

つぶやきながら、「お母さん」は **D** と指を近づけてきた。俺が思わず反応してハサミを振り上げると、「ギャッ」と叫んで指を引いた。  
「割り箸持って来なきゃ」

ふやけきつて地球外生物みたいに膨張したアタリメを、引き上げてくれるつもりらしい。こっちは正直、食欲なんてカケラもなくなっていたから、ありがたかった。「お父さん」が言うように、もともときれいでもなかった水は、急速に汚染されつつあった。

「ザリガニよりさ、オレのメシは？」

「あ、そうね。すぐ温めるわ」

「お母さん」があわてて立ち上がり、パチリと音がして、辺りはまた真っ暗になった。

翌朝、フータが目覚めて真っ先にやったことは、俺のいるバケツを覗き込むことだった。子どもの柔らかい指が、ちよんと俺の背中をつつく。そのときの俺には、自慢のハサミを振り上げる元気もなかった。息苦しさに、全身がダルい。

「マズいな、と思った。同じことはフータも思ったらしく、あわてて母親を呼びに行った。」

「たいへんだよ、ザリガニが弱ってる」

「こちらを覗き込み、「お母さん」はうーんとうなった。」

「このままじゃ、死んでしまうかも……」

「えっ」フータは泣きそうな声を上げる。「どうしよう。エサ足りないんじゃない？ もっとやるうか？」

昨夜のうちに「お母さん」が引き上げてくれたアタリメを、俺が一晚のうちに食らい尽くしたものと思つたらしい。

少し考える顔をしてから、「お母さん」は言った。

「あのね、足りないのはエサじゃなくなって、空気なのよ、たぶん」

7  
「そうそう、その通り。」

「金魚を飼う時みたいに、ちゃんとポンプで空気を送り込んでやらなきゃならないのよ」

わかってンなら、今すぐ導入してくれよ。苦しい息の下、俺は必死の願いを込めて人間たちを見上げた。

「だけど今、お給料日前でピンチだし……もしすぐ死んじゃったら、ムダになるし」

おい、ちよつと待つてくれよ。今ピンチなのは、むしろこっちの命だよ。頼むから、本当に後生だから、そんなところで儉約つぷりを発揮しないでくれよ。

「死んじゃうのやだよ、せっかくボクが釣つたのに」

半泣きになりながら、フータがどたと奥へ走っていく。しばらくこそそやってから、再びどたと戻ってきた。手にはストローを握り締めている。いきなりそれを俺のいるバケツに突っ込んで、ぶくぶく必死で空気を送り込んでくる。

できればもっと新鮮な空気がいいけど。そんな二酸化炭素が多そうなんじゃなくなってさ。そう思ったものの、やっぱりちよつとはあ





平成23年度入学試験（一次B日程）

清心中学校

算数（その1）

受験番号		名前	
------	--	----	--

- 注意 ① 3枚の用紙とも受験番号と名前を記入しなさい。  
 ② 答えは指定された所を書きなさい。  
 考える途中で書いたメモ，図，計算式などは残しておきなさい。  
 ③ 必要ならば，円周率は3.14を使いなさい。

1 次の各問いに答えなさい。

(1) 次の計算をしなさい。

①  $40 - 30 \div 5 \times 3$                       ②  $2\frac{4}{9} - \frac{5}{6}$

答 \_\_\_\_\_

答 \_\_\_\_\_

③  $0.74 \times 15$                       ④  $3 - 0.25 \times \frac{4}{3}$

答 \_\_\_\_\_

答 \_\_\_\_\_

(2) 食塩水150gの濃度が12%のとき，この食塩水には食塩が何g含まれていますか。

答 \_\_\_\_\_ g

(3) あるクラスの女子の人数は18人で，これはクラス全体の $\frac{6}{11}$ にあたる。このクラス全体の人数を求めなさい。

答 \_\_\_\_\_ 人

(4) ハトは秒速26mで飛びます。次の①，②に答えなさい。

① ハトは5秒間に何m飛びますか。

答 \_\_\_\_\_ m

② ハトの速さは時速何kmですか。

答 時速 \_\_\_\_\_ km

(5) たて30cm，横40cmの直方体の形をした水そうに30リットルの水が入っています。水の深さは何cmですか。

答 \_\_\_\_\_ cm

(6) ある日の岡山の日の出の時刻は午前6時16分，日の入りの時刻は午後5時9分でした。日の出から日の入りまで何時間何分ですか。

答 時間 \_\_\_\_\_ 分

(7) 0から10までの整数 $x$ があります。 $x$ に3を加えると5で割り切れます。 $x$ に5を加えると3で割り切れます。 $x$ を求めなさい。

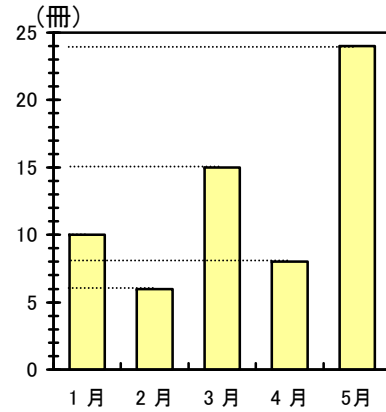
答  $x =$  \_\_\_\_\_

算数（その2）

受験番号		名前	
------	--	----	--

2 右のグラフはゆう子さんが1月から5月までに読んだ本の数です。6月は3月の $\frac{3}{5}$ だけの本を読みまし。次の各問いに答えなさい。

(1) 6月は何冊読みましたか。  
[求め方]

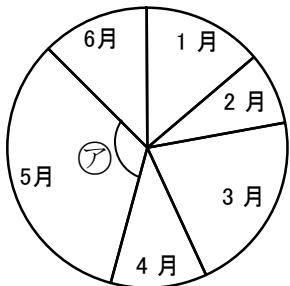


答 \_\_\_\_\_ 冊

(2) 1月から6月に平均して毎月何冊読んだことになりますか。  
[求め方]

答 \_\_\_\_\_ 冊

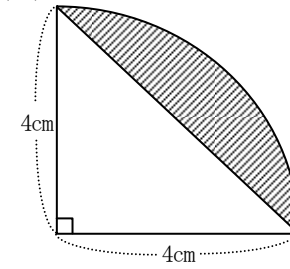
(3) 1月から6月までの読んだ本の数を円グラフにすると、下の図のようになります。5月の部分の $\text{ア}$ の角は何度ですか。



答 \_\_\_\_\_ 度

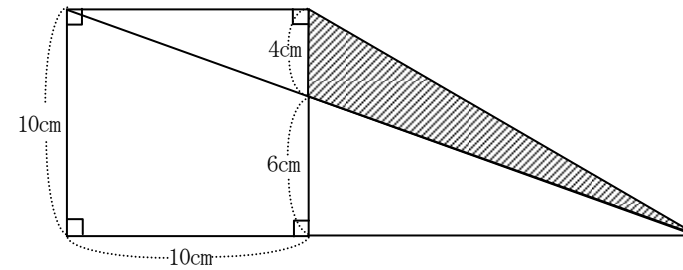
3 次の図の斜線部分の面積を求めなさい。

(1) [求め方]



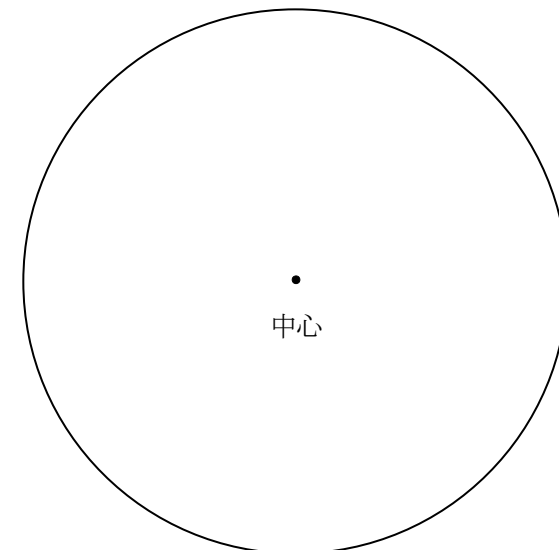
答 \_\_\_\_\_  $\text{cm}^2$

(2) [求め方]



答 \_\_\_\_\_  $\text{cm}^2$

4 下の円をもとにして、コンパスと定規を使って正六角形をかきなさい。ただし、作図に使用した線は消さずに残しておきなさい。



答 (図に記入)

算数（その3）

受験番号		名前	
------	--	----	--

5 メロン3個の値段がマンゴー5個の値段と同じで、メロンとマンゴーを1個ずつ買うと3200円でした。次の問いに答えなさい。

(1) メロン3個とマンゴー3個の合計の値段を求めなさい。

[求め方]

答 \_\_\_\_\_ 円

(2) マンゴー1個の値段を求めなさい。

答 \_\_\_\_\_ 円

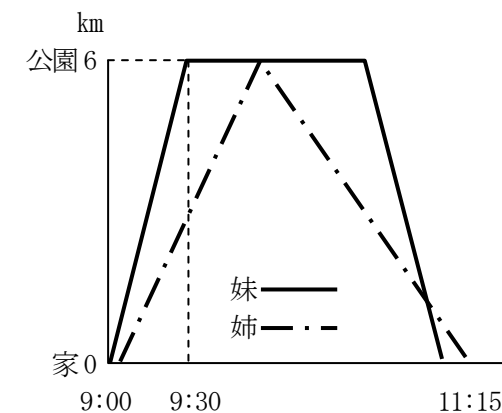
(3) 10000円の予算を残さず使って、メロンとマンゴーを合わせた個数が最も多くなるように買うとき、メロンとマンゴーはそれぞれ何個買えるでしょうか。

[求め方]

答 メロン \_\_\_\_\_ 個 , マンゴー \_\_\_\_\_ 個

6

妹は午前9時に家を出て、自転車で6km先の公園まで行き、70分間遊んだあと、また家まで自転車で帰りました。自転車の速さは行きも帰りも同じでした。姉は妹よりもあとに家を出発し、公園に向かいました。行きは分速120mで走り、公園に着くとすぐに歩いて家まで帰りました。姉が公園に着いたのは、妹が公園を出発する時刻のちょうど45分前で、姉が家に着いたのは午前11時15分でした。右のグラフはその様子を表しています。次の問いに答えなさい。



(1) 妹の自転車の速さを求めなさい。

[求め方]

答 分速 \_\_\_\_\_ m

(2) 姉が家を出た時刻を求めなさい。

[求め方]

答 午前 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分

(3) 公園から家まで、姉が歩いた速さを求めなさい。

[求め方]

答 分速 \_\_\_\_\_ m

(4) 公園から家に向かう途中、妹が姉を追いこした時刻を求めなさい。

[求め方]

答 午前 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分